

Course Objectives

虚血性心疾患の内科治療は様々なデバイスの開発、DESの出現でほぼ完成された感がある。また外科領域でも様々なデバイスが開発されOff-pump CABGが当たり前になっている。それぞれの分野に携わるスタッフの役割も変化を遂げている。またそのまわりで新しい診断機器が開発され、特にマルチスライスCTの登場で冠動脈描写が容易になり、今後診断カテーテルが減っていく現状が想像される。その中で我々は医療レベルを保ちながら各々の仕事に携わらなければいけない。少ない機会でも個人のレベルを維持することは大変難しく、個々の機会を大切にしなければいけない。そのためには基本を忘れることなく常に基本に戻るスタイルを持たなければならない。

今回の新しい試みとして韓国からのコメディカルを招聘し、コメディカルライブに参加して頂き、韓国と日本のコメディカルの役割の違い等の講演をして頂く予定です。

CCT2006でもう一度基本に戻り自分の知識の再認識する機会、また新しい知識の吸収、他施設との交流して頂き情報交換の場にして頂ければ考える。

Thursday, September 21

Hall A 神戸国際展示場 1号館 2F**PCIライブ**

13:30-17:00

中継：豊橋ハートセンター

今年も例年通りコメディカルライブを開催します。今回は豊橋ハートセンターからコメディカル専用回線を頂き、入室から退室までを細かく見て頂きたいと考えております。またコメンテーターとして韓国のコメディカルを招待しライブのコメントを頂くとともに、ライブの合間に韓国の現状等の講演を頂きたいと考えております。自由に質疑可能な会ですので奮ってご参加下さいませようよろしくお願いいたします。

13:30-15:15

座長：添田 信之

Dr.コメンテーター：佐藤 匡也

コメンテーター：Mi Sook Ahn、赤松 俊二、岡崎 憲吾、辻 孝子

演者・演題：「PCI in backing-up with percutaneous cardio-pulmonary bypass support system」
Mi Sook Ahn

15:15-17:00

座長：藤田 光広

Dr.コメンテーター：清野 義胤

コメンテーター：Jae Yoon Ko、小早川 香樹、島袋 朋子、宮本 秋生

演者・演題：「IVUS-guided PCI」
Jae Yoon Ko

Room 2 神戸国際展示場 2号館 3F9:00-10:30 **心臓カテーテル検査における工夫**

座長：荒居 広明、田島 修

演者：「被曝低減の工夫」 佐藤 久弥

「心カテ装置の工夫」 鯨井 秀之

「被曝低減のための注意点」 荒居 広明

心臓カテーテル検査、治療は医師が主導を握っていますが、放射線機器にかかわることは放射線技師が管理、モニターしています。このような状況の中で、少しでも医師に良い環境を、また患者への負担を少なくするためのちょっとした工夫を呈示して頂きます。

10:40-12:00 **医療被曝**

座長：荒居 広明、佐藤 久弥

演者：粟井 一夫

水谷 宏

心臓カテーテルの治療は、器具の発達と併に手技の技術もレベルアップしています。それに伴い複雑な病変や慢性閉塞病変へのチャレンジも果敢に行なわれています。治療時間の増加に伴いどうしても被曝の問題が無視できなくなります。ここでは、この問題について基本から具体的なことまで話して頂きます。

ランチョンセミナー

12:15-13:25 動画像ネットワークシステムの現状～院内情報システムの連携

座長：荒居 広明、鯉井 秀之

演者：「当院におけるHIS情報端末での
動画像等の運用について」

鈴木 幸弘 (仙台オープン病院)

「当院における循環器情報システムと
各種画像システムとの共存：現状と課題」

古家 賢治 (野崎徳洲会病院)

「院内・院外の情報連携 ～実証から実践へ」

奥 真也 (東京大学22世紀医療センター/
埼玉医科大学総合医療センター)共催：株式会社グッドマンヘルスケア
ITソリューションズ

循環器科、放射線科を中心とした1部門システムとしては円熟期を迎えたと
言っても過言ではない動画像ネットワークシステム。現在は、部門システムと
しての高い機能性を犠牲にせずに、他の部門システムや、HIS、RIS、EPR等の
上位システムと如何にスムーズに連携することが出来るかが、より重要な課題
となっています。

今回、動画像ネットワークシステムシェアNo.1であるGoodnetが、どのよう
に他システムとのシームレスな連携を実現しているかを、実際の導入施設と
IHE-Jの双方向の観点からご講演頂く予定です。

13:30-15:00 CTの最新動向

座長：清本 昌義、小味 昌憲

演者：谷口 彰 (東芝メディカルシステムズ株式会社)
山崎 弘樹 (GE横河メディカルシステム株式会社)
福田 圭助 (フィリップス株式会社)
早川 護 (シーメンス旭メディテック株式会社)

CT装置は検出器の多列化の増加や複数化など、進化し続けています。この
セッションでは、メーカー4社にCTの最新動向、トピックスを講演して頂きます。
各社の特徴を比較するチャンスです。日頃思っている疑問点を解消して下さい。

15:15-16:45 Coronary CT

座長：中村 敦、山口 隆義

演者：「心電同期再構成法を含めた基礎知識」井田 義宏
「冠動脈CTにおける線量低減について」善積 透

日々、Coronary CT検査は進化しています。今回は、技術的な内容に注目し、
最も基本となる心電同期再構成法について詳しく解説して頂き、さらに、最
新の被曝低減技術や新たな心電同期撮影法の可能性についてご講演頂きます。
技術職としての立場で、画像構築技術への理解を深めたいと思います。

Friday, September 22

Room 2 神戸国際展示場2号館 3F

9:00-10:30 患者様への対応と指導

座長：中山 美恵子、柳沼 昇

演者：出光 康造

「心臓血管外科手術を受ける患者の
オリエンテーションの検討」

山戸 亜弥子

「個別性のある開心術後の生活指導」

谷藤 由紀

「国立循環器病センターCCUにおける
カテーテル前後の患者様への対応と指導」

大西 淳子

「心カテを受ける患者さんへの対応と指導」

石井 富士子

医療の現場では急性心筋梗塞で蘇生しながら救急搬送されてきた患者様や、
長期に療養されている入院中の患者様、これから手術をしようとしている患者
様、退院に向けての患者様がいらっしゃいます。私達は、急変対応時には、患者
様の状況を把握して対応すると同時に家族への指導も重要となってきます。
手術を迎える患者様へは、精神的な援助と体調の管理等の指導が必要となり
ます。心臓カテーテル中の患者様へは、絶えず循環動態の観察と訴えに気を
つけながら治療の介助が必要となってきます。退院に向けての患者様の場
合は、従来の生活にできるだけ早く戻っていただけるように、そして寝たきりにな
らないように食事や運動も含めた援助と指導が必要になります。

私達医療者は、この様な患者様それぞれの状況に合わせて対応し、指導し
ていくことが求められています。日ごろ行っておられます患者様へのそれぞ
れの病院での取り組みや対応について、大いに討論して頂き、皆様と一緒に考え
たいと思います。

>> Co-medical

10:30-12:00 心臓カテーテル検査・治療における看護師の役割

座長：大石 景子、小早川 香樹

演者：「カテーテル検査・治療中の看護」
谷 朱美「チーム医療中での看護師の役割」
三島 裕子「DPC導入による業務内容の変化と対応」
島袋 朋子「心臓カテーテル検査・治療における看護師の役割
～ICUと心臓カテーテル検査室を兼任しながら～」
東 幸代「日帰り心臓カテーテル検査における看護師の役割
～クリニカルパスを活用して～」
大杉 紅夢

日々進化する近年の医療現場において、私たち看護師はどのような役割を担い看護を実践しているでしょうか。

一般に心臓カテーテル検査及び治療を受ける患者様に対し行う看護としても、環境整備、物品準備及び管理、看護計画・術中記録、患者様への援助・処置、医師の介助、他病棟及び外来との継続看護、患者指導、スタッフ間の連絡調整などさまざまなものが挙げられます。

日帰りカテやクリティカルパス、電子カルテ、キット導入など各施設においても患者様のニーズに合った医療が提供され、さまざまな工夫がなされていることと思います。

そこで今回、現在実施されている看護の現状を発表して頂き各施設の長所や問題点ならびに課題、疑問など会場に参加されている皆様を含め数々の情報をもとにディスカッションし、現場での活用に生かすことができるよう活発な意見交換を行っていきたいと思います。より質の高い看護の提供がめざせる場となるよう一緒に考えましょう。

ランチョンセミナー

12:15-13:25 DES時代：コメディカルの果たす役割

座長：添田 信之

演者：日吉 重美 (ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社)
中山 美恵子

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

薬剤溶出ステント『CYPHERシロリムス溶出冠動脈ステント』は既に欧州での発売開始から4年が経過し、国内でも2年が経過しました。

CYPHERステントの有効性は臨床治験だけではなく、既に各施設での日常臨床においても確認されつつあります。本邦での臨床使用から2年が経過したCYPHERステントの国内データから、安全性/有効性の一層の向上のために、患者様に対するチーム医療の中における「薬剤溶出ステント (DES) 時代におけるコメディカルの果たす役割」について、このセミナーを通して共有していただければ幸いです。

13:30-14:50 基礎の確認1

座長：平田 和也

演者：「冠動脈の解剖とCAG」 小松 良司
「心電図の読み方」 納口 英次
「PCI 時の血行動態の把握」 佐藤 真也

PCIにおけるデバイスや技術の進歩は目を見張るものがあります。我々コメディカルは、日々進歩する技術に追従するためには、基本を理解し、個々のレベルアップが必要であります。チーム医療において、個々がレベルアップすることで、より良質な安全な医療を提供することが可能となります。それで冠動脈の解剖、心電図、血行動態の把握、PCI における基礎的な講演をお願いします。この機会に基本を再認識して頂ければと考えます。

14:55-15:50 基礎の確認2

座長：添田 信之

演者：「IVUSの基礎」 平田 和也
「造影剤と腎症」 山口 敏和

15:55-16:50 IABP

座長：赤松 俊二

演者：「IABPの基礎」 木下 昌樹

「IABPバルーンコンセプト」
尾崎 暁 (エドワーズライフサイエンス株式会社)
飯田 隆浩 (ゼオンメディカル株式会社)

大動脈内バルーンポンピング (Intra Aortic Balloon Pumping) は20世紀最大の補助循環の発明といわれ様々な疾患の役に立ってきた。現在細微化が進み、かつ様々なアイデアに伴い完成されてきた感がある。今回はIABPの基本からの見直しと制作者側からの意図今後の発展等を再確認して頂きたい。

Saturday, September 23

Room 3 神戸国際展示場3号館 1F**外科ライブ**

LIVE

9:45-13:00

**もっとわかりやすい
心臓血管外科ライブ**

中継：豊橋ハートセンター

今年のコメディカルライブでは、会場の皆さんにわかりやすく心臓血管外科のライブを見て頂くことにしました。「日頃から心臓血管外科手術に少し興味があるけれど、手術は実際どのように行われているのだろうか」と興味を持ち始めている内科系の看護師さんから、「いつも心臓血管外科の手術についているけど、他の施設と手術の内容はどこか違うのだろうか」と疑問を感じている手術室の看護師さんまで、心臓血管外科手術最前線の豊橋ハートセンターからの手術を見ながら心臓血管外科ドクターがわかりやすく解説いたします。もちろん、会場の皆様からの様々な質問も歓迎ですので皆さん奮ってご参加下さい。

座長：鈴木 正人(北海道大野病院)、相田 伸二、江連 幸子

コメンテーター：喜島 裕子、嶋 雅範、名和 文子、根布 絢実

13:10-14:20 **ウェットラボ 手術も心臓も解体します**

座長：黒光 弘幸、柳沼 昇

演者：大川 育秀(豊橋ハートセンター)

このセッションでは、ブタの心臓を用いて心臓の解剖とLiveでご覧頂いた手術の再現をいたします。

手術を理解することは術後の観察やケアに大きく役立つはずですが、何気なく眺めていた手術も細かく解体しながら見直すことで術後の観察に役立つことが見つかるかもしれません。

術中・術直後におこる合併症についても解説いたします。

また、心臓の解剖生理も行います。普段見ることのできない心臓の内側には何があるのかを解説します。普段の手術ではわかりにくいところを解説し、随時会場からの質問にお答えしながら進めていきます。

心臓手術について理解を深めて頂ければ幸いです。

14:30-16:00 **目から鱗? ためになる麻酔医の術後管理**

座長：守屋 元、徳田 雅直

演者：池崎 弘之(大和成和病院)

昨年の教育講演「麻酔医の見た心臓手術後管理」、たいへんご好評を頂きました。しかしながら時間が不十分であり先生も私たちも不完全燃焼。

そこで今年は講演時間を拡充し、より「ためになる」セミナーを開催したいと考えました。日頃、心臓外科の先生の視点から経過を見ることの多い術後管理。麻酔科医の視点で見てみたらまた違う世界が見えてくるかもしれません。患者さんの術後管理に、きっと新たなヒントが得られることでしょう。

講師は昨年に引き続き大和成和病院麻酔科部長、池崎弘之先生です。先生は呼吸管理に非常に熱心に取り組んでおられ、心臓手術後は早期抜管、早期離床を提唱、実践しておられます。講演では「術後の呼吸管理」を中心とし、管理の秘訣をおはなし頂けるものと思います。

日頃皆さんが心血を注いでいる術後管理。さらにより良いものにするために、また「忙しいばかり」とため息する毎日を脱却するために、きっと「ためになる」ヒントがたくさん詰まったセミナーになると思います。是非ご参加下さい。

Room 2 神戸国際展示場2号館 3F9:00-9:45 **心臓超音波検査の基礎**

座長：辻井 正人

演者：桜山 千恵子

心臓超音波検査(UCG)は、いまや循環器の日常診療にとって一時も欠かせない検査方法となっております。解剖ならび機能、弁膜症、虚血性疾患、先天性心疾患を、非侵襲的にしかも簡単に診断できます。このセッションでは心臓超音波検査の基礎的な走査方法と虚血性心疾患の壁運動変化および、心臓カテーテル治療時における冠動脈破裂の診断、経過観察などを中心に講義をして頂きます。

9:45-10:30 超音波による人工弁の診かた

座長：辻井 正人
演者：別當 勝紀

心臓外科手術により弁置換術が行われていますが、実際にコメディカルの方々は手術室に入り実際の人工弁、術式は見学されたことがある方もみえると思いますが、その後の人工弁についてはいかがでしょうか。再手術にならないかぎり、情報は入ってこないと思われま。人工弁の機能評価に超音波が用いられていますが、実際、どのように人工弁を超音波で診て評価しているのか、どのようになれば再手術になるのかなど、知っておきたい基礎知識向上のため、わかりやすくご講演して頂きます。

10:30-11:15 頸動脈超音波とは

座長：藤田 光広
演者：山本 幸治

頸動脈は動脈硬化の好発部位であり、頸動脈の壁厚と冠動脈病変とは相関があると報告されています。頸動脈超音波検査は、全身の動脈硬化の程度をおおむね把握することができ日常よく行われている検査の一つであります。では実際にどのように頸動脈をみて検査しているのかコメディカルの方々に基礎知識として知って頂きレベル向上の一つになればと思い、わかりやすくご講演して頂きます。

11:15-12:00 腎動脈の基礎から治療まで

座長：藤田 光広
演者：竹本 和司

循環器検査において画像診断、特に超音波検査は欠かせない検査の一つで、心臓カテーテル検査においても様々な超音波検査が使用されております。このセッションでは腎動脈超音波検査について講義を行います。腎動脈超音波検査は非侵襲的に左右腎動脈の狭窄病変の診断、評価、そして治療、経過観察として重要な検査の一つであります。今回はこの検査において第一人者である超音波検査技士がわかりやすく、詳しく講義をいたします。

ランチョンセミナー

12:15-13:15 動脈の硬さから観るメタボリック・シンドロームと冠動脈疾患

座長：藤田 光広
講師：富山 博史(東京医科大学)

メタボリック・シンドロームとは内臓脂肪型肥満によって高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病をはじめ、様々な病気を引き起こす状態のことをいいます。予備軍も合わせ約2000万人に及ぶと厚生労働省で発表され、現在では40才代以降の男性は2人に1人、女性で5人に1人が“危険水域”に該当するといわれています。また、メタボリック・シンドロームは動脈硬化の危険因子である肥満、高血圧、高脂血症、糖尿病をも重複して発症していることが多く心筋梗塞や脳梗塞になり易いといわれております。このセッションでは動脈硬化、脈波等で第一人者である富山先生にメタボリック・シンドロームと冠動脈疾患との関わりについて詳しく講義をして頂きます。

14:00- 実技 コメディカル スタッフのための心臓カテーテル実技講習会

座長：辻井 正人
講師：森田 寛(関西医科大学)

心臓カテーテル検査、治療などで使用されているガイドカテ、ガイドワイヤー、バルーン、ステント等は治療の進歩により多様化しています。これらの使用されている器具類をコメディカルもどのような冠動脈検査、病変などに用いられるかを理解しなければいけないと思われま。森田先生には基本的な心臓カテーテル検査、治療に用いられるカテ、ワイヤー、バルーン・ステントサイズ、種類と各ニューデバイスの使用法について詳しく、解かりやすく解説をして頂きます。実技指導でも森田先生が開発に携ったカテーテルトレーニングキットを用い、実際に参加者の方たちに使用してもらいカテーテル検査を体験して頂きたいと思ひます。

実技 血管エコーハンズオンセッション

頸動脈・腎動脈・下肢動脈

神戸国際展示場 3号館 Room11

September 22

14:00-16:00

September 23

9:30-11:30 / 14:00-16:00

最新式超音波装置5台を用意し、一人約10分の持ち時間で、申込の際に希望された部位(頸動脈・腎動脈・下肢動脈から一つ)を経験豊富な先生方にアドバイスを頂きます。尚、希望部位以外も聴講は可能です。

インターベンションを取り巻く世界でも、末梢血管治療の重要性が高まっております。是非この機会に「CCT2006 血管エコーハンズオンセッション」にご参加頂き、明日からの臨床にお役立て頂けましたら幸いに存じます。

※ 事前登録が必要です。